

加太小 学校だより



2021年
10月19日
No.14

朝夕はめっきり涼しくなり、本格的な秋の訪れを感じます。コスモスもいたるところで満開となり、目を奪われる景色が広がっています。学校では、子どもたちは寒さを感じながらも元気に過ごしています。

さて、10月15日に第2回学校運営協議会が開催されました。話し合われた内容は以下の通りです。

10/15 第2回 学校運営協議会が開催されました (10/1 役員会)

○ 特認校制度について

児童数減に伴う方策の一つである特認校制度の活用について、協議会や役員会でもいろんな意見が出されました。※「特認校制度」とは校区外から加太小の教育を希望して入学・転学を認める制度

- ・白川小の場合は、地域が学校を残したいという気持ちがとても強く特認校を実現することになった。保護者の意見も大事にしながら、広く意見を聞いていくべきである。
- ・「加太小学校を残したい」と思わないと動けない。思いの共有が大切。
- ・加太保育園の野外保育が加太小の野外活動につながっている。このつながりを大事にしたい。
- ・特認校になるなら、子どもの対応をするための加配の先生が欲しい。
- ・特認校にするためには、地域の資源を十分に活用した特色ある教育が必要。
- ・白川小も2年間の試行を経て実施している。導入するならそういう期間をつくるのもひとつか。
- ・加太小学校というより加太小の教育を残したいという思いがないとむずかしい。地域外の人の方が加太の魅力を知っている。加太の魅力の再発見の機会にもなる。



～ 教育懇談会(11/12)で、保護者の皆様のご意見をお聞かせください。～

○ 加太小学校教育活動中間評価について ※委員会で出された意見です。

- ・「休校や短縮授業による学習の遅れはないか」⇒4教科を中心に進めたので大きな遅れはない。
- ・「オンライン授業の成果は」⇒全員に授業を実施することができた。学習意欲を伸ばすのはむずかしい。
- ・わたりの授業における先生たちの苦労がよくわかる。

○ つむぎ活動中間報告について

- ・これまでの経過報告と今後の予定が報告されました。

○ 学校運営協議会規約の改定について

- ・「委員の守秘義務」を会則に追加しました。

○ 上加太地区児童の福祉バス利用の要望について

- ・上加太地区の児童数減や危険な道路状況に対して、登下校時の福祉バス利用を、亀山市に要望することとしました。





就学時健診がありました 10/14

新入学児童が来校し、健康診断を受けたり問題に答えたりしました。来年度は1年生6名が入学して全校児童数30名でスタートする予定です。



目を大切に

10月10日は、目の愛護デーでした。学校でもタブレットを使う機会が増えるため、視力が低下しないよう姿勢に気をつけさせています。10月には養護教諭が各教室を回り、実際に目の運動やタブレットとの距離の取り方を体感させ、健康的な学校生活が送れるよう指導しました。

ご家庭でもゲームをする時間が長くなったり、本を読む姿勢が悪くなったりしないよう、お子さんの様子を見守ってあげてください。



令和3年度 教育功労者の紹介

10年以上にわたり本校の教育活動をご支援いただきありがとうございます。永年のご尽力に感謝申し上げます。

青 新一 様

学校運営協議会会長としての役割とともに、田んぼ活動の講師として、子どもたちに米作りの貴重な体験活動を行っていただいています。

森下 勇司 様

学校運営協議会委員として、地域と学校をつなぐ役割をしていただき、円滑な学校運営にご尽力いただいています。

塩澤 恵美子 様

花ボランティアとして環境美化にご尽力いただいています。

北澤 立男 様 北澤 征子 様

うどん作りを子どもたちに指導していただいています。今年度は、「地域の達人から学ぶ」クラブ活動の一環で、4年生以上に教えていただきます。